

リーディングDXスクール事業【実践事例】

相模原市立津久井中央小学校（神奈川県）

【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」・資料の蓄積と学びの共有

| | |
|---------------------------|------------------------------|
| 9/19 | |
| 今日の学習で学んだこと | 考えたことや疑問 |
| 室町時代に応仁の乱があったことがわかった。 | どうやって全国統一したのか。 |
| 応仁の乱で使っていた鉄砲の作っているところを知った | 騎馬戦をやったら被害が多くなると思う。 |
| 長祿の戦いについて知った。(人、武器など) | 水の近くで戦をする理由 |
| 屏風絵を見て気づいたことや聞いたことをまとめた | |
| 屏風絵を見て気づいたことや疑問を書いた | まとめ方がノートより難しかった |
| 応仁の乱で使っていた武器を知った | 気づいた事と疑問をみんなで発表し合った |
| 応仁の乱など長祿の戦いなどについて知った | でこぼこな土地や、海の近くで争いをするのは、なんでだろう |
| 応仁の乱での戦い方の工夫や武器などを学んだ | 旗になぜ文字を書いているのか |
| 昔に3VS1で戦をしていたってことを知った | 全国統一をする方法 |
| 長祿の戦いについて気付いたことをまとめた。 | 話を聞きながらメモを書く難しさを知った |
| 長祿の戦いの絵を見て意見をまとめた。 | 戦いについてより詳しく知りたい。 |
| | 三人の武将がどんな人たちなのか知ってみたい。 |

織田信長



美濃県の尾張の大名
駿河県の駿河の今川義元を「桶狭間の戦い」で破った
さらに、豊臣の有力な大名を倒して勢力を広げていった。
そして信長は近畿の近江の安土に城を築いて全国統一のための拠点にし、新しい考えを取り入れた政治を進めていった。
ヨーロッパから伝えられたキリスト教を保護して、教団や学校を建ててきたことを認めた。しかし全国統一を目指す戦いの途中で、豊臣の豊臣秀吉に打ち負かれ京都府の本能寺で命を落とした。

豊臣秀吉



信長の有力な武将であった。信長の死後、すぐに明使光秀をおした。そして大坂城を築いて政治的拠点にし、信長の政治を引継いで、支配力を強めていった。
秀吉は、信長の死後8年で全国の大名を従え、一時的な勢力もあつて、全国を統一した。
秀吉は全国に課税を課税して、村ごとに検地を行い田畑の面積を測りました。さらに土地の収しあし(良いこと悪いこと)や収穫量、耕作している人々の名前を記録した。これによって耕作者は田畑を耕作権を認められるかわりに決められた年貢(金銭)を納める義務を負った。また村に住む人々を四民身分とし、これからの人々が一層よくなるように、力持せよという力持せよの言葉を残した。

徳川家康



豊臣の三男の大名に生まれ、幼少時は今川氏の人質として過ごし、その後信長と豊臣(同じ行儀を取るよう)に約束すること)して力を伸ばした。
信長の死後、家康は、秀吉の命で關原の戦いで、力をなくすまで、その後秀吉がなくなると、多くの大名たちを擁護につけて、徳川家の徳川家の戦いで討つる豊臣の大名たちを倒し、全国の大名を従えた。
1603年、家康は徳川幕府を開き、江戸(東京都)に幕府を開いた。さらに、大坂城をめぐって豊臣氏を倒すほどし、江戸幕府の幕府を開いた。家康は政治的にふるまうし城や城下町を江戸に作るための大規模な工事に着手しました。



前時の振り返りをみんなで共有し、考えたことや疑問を確認してから本時の学習に入る。



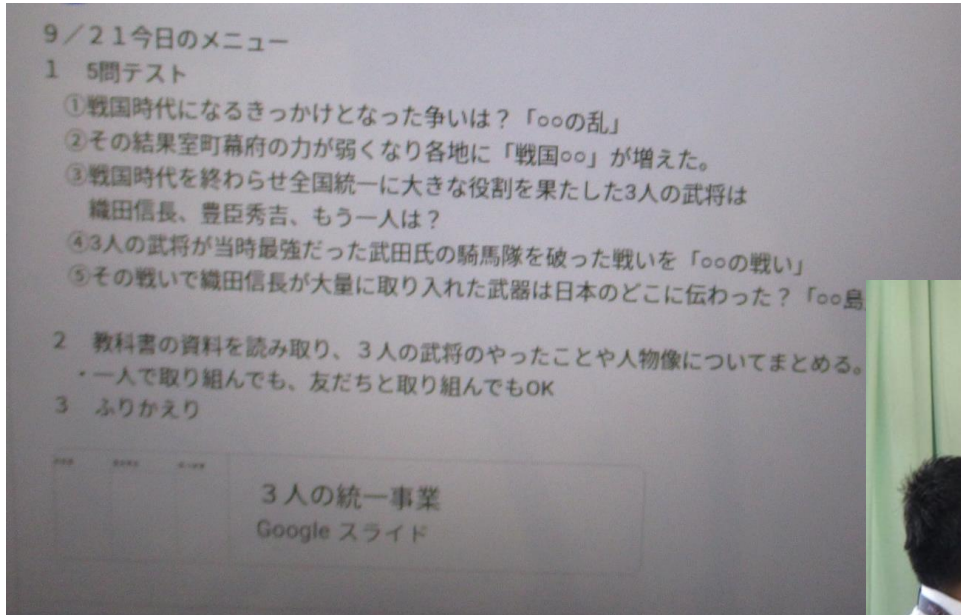
教科書の内容を自分なりにまとめてスライドに記録するが、教科書に線を引き、焦点化してからスライドにまとめる児童もいれば、直接スライドに入力する児童もいる。まとめ方も様々。個々のやりやすい方法を選択してまとめる。

共有する場面では、集まって意見を交わすことも。ICTを活用して共有する良さ、言葉で共有する良さ、双方の良さを知り、使い分ける。

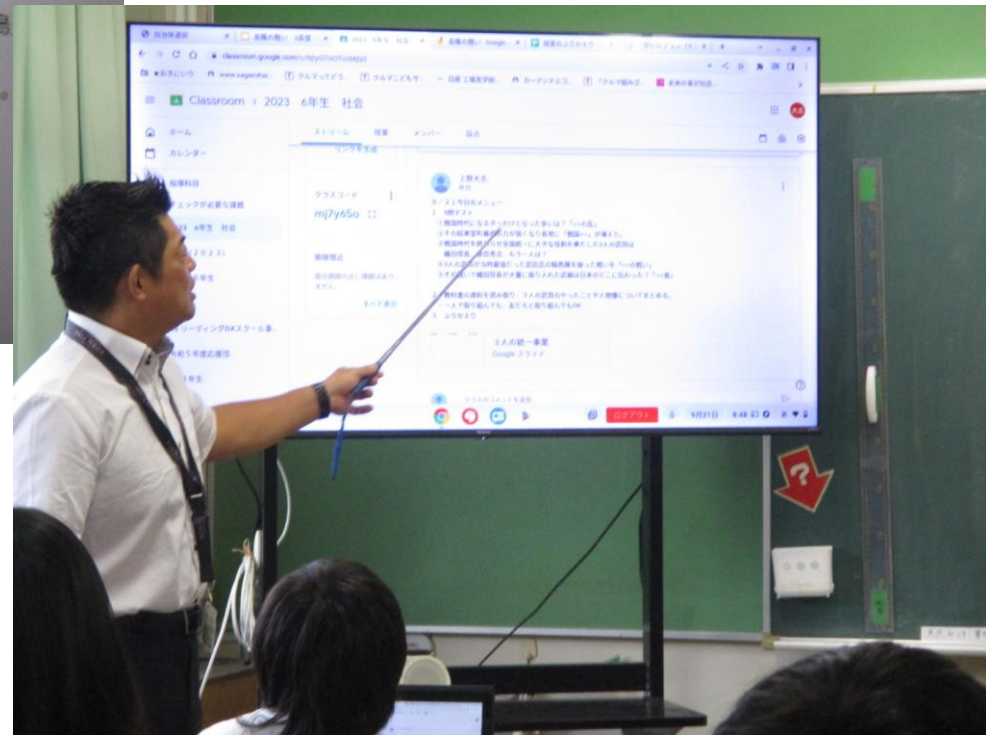
リーディングDXスクール事業【実践事例】

相模原市立津久井中央小学校（神奈川県）

【取組内容③】「端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実等」・学校の学びを家庭学習につなげる



気を付けていることは、Classroomの内容を見ていることを前提に進めるのではなく、授業中に内容の確認は必ず行う。



津久井中央小学校では、学校の学びを家庭につなげるためのICTの活用を探っている。

Classroomで小テストの内容を提示したり、課題を提出したりするなど学校の学習を継続して家庭で行うことで、個にあった進捗で学習を深めることができる。

また、休んだ児童も授業内容を確認できるので、学習への不安も減っている。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

相模原市立津久井中央小学校（神奈川県）

【取組内容④】「校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修」

・「学び合い」をベースとした授業改善と学びを深めるために効果的なICTの活用

教員がICTを活用した授業のイメージを共通してもつために、1単元を通して授業公開をして、全教員が参観をしたうえで取組をスタートした。

津久井中央小学校では、ICTを使う授業をするのではなく、ICTを活用することで、子どもたちの資質・能力を身に付ける道具としての使い方をめざして行っている。校内研究「学び合い」の授業の中で、ICTを取り入れることが、どれだけ効果があることなのかも含め、今後検証を行っていく。

